



KUSHIRO WEST ROTARY CLUB 2016~2017 (平成27年~28年)

釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和45(1970)年6月8日 承認 昭和45(1970)年6月10日

2016~2017 RI テーマ 「人類に奉仕するロータリー」



《例会日：毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場：ANAクラウンプラザホテル 釧路市錦町3-7》

会長 小泉 和史 幹事 松田 正昭

■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

《本日のプログラム》 6月5日 12:30

普通例会

会員誌：当週と今週のロータリー、クラブ活動について(副会長) 担当：国際課

《次回のプログラム》 6月12日 12:30

普通例会

会員誌：当週と今週のロータリー、クラブ活動について(副会長) 担当：クラブ課

2017年6月5日(月) 第41回 通算2184回

【点 鐘】 小泉会長

【ロータリーソング斉唱】 請川会員



【お客様と来訪ロータリアンの紹介】 小泉会長

「国歌」「奉仕の理想」「四つのテスト」

釧路ベイロータリークラブ

会 長 渡辺雅樹 君

20周年実行委員長 成田育夫 君

【会長挨拶】 小泉会長



みなさん、こんにちは。先日は第2500地区第7分区、ロータリアン・マスタースゴルフ大会が釧路カントリークラブで開催され当クラブからは8名の会員が参加されました。当日は曇りで寒かったですけど、楽しくプレーが出来たのではないかと思います。参加されました会員みなさまに改めて感謝申し上げます。

現在の西クラブではゴルフをされる会員は12～13人ほどおりますが、この前から話が出ており、親睦からゴルフクラブを結成する話も上がっていますので、ぜひ次年度、松田年度で取りまとめさせていただきたいと思っております。第2500地区第7分区の年度内の事業はすべて終了し、6月25日に最後の会長・幹事会を残すだけとなりましたので報告させていただきます。本日は張江パスト会長に昔のロータリークラブのお話をさせていただきますので、のちほど、卓話の方よろしくお願い致します。以上で会長挨拶終わります。

【幹事報告】 松田幹事



・近隣クラブより、例会プログラム案内。

◎創立20周年式典のお礼

釧路ベイロータリークラブ 渡辺雅樹 会長



みなさん、こんにちは。本日は、5月13日に開催致しました。ベイ・ロータリークラブ創立20周年のお礼の挨拶に、スポンサークラブの西クラブ様に、成田実行委員長と訪問させていただきました、代表して渡辺より、ご挨拶を申し上げます。本日は、ご挨拶の時間をご配慮賜りまして、ありがとうございます。このたびの当クラブ創立20周年記念「躍動する20周年出会いに感謝」式典、講演会、祝賀会に際しましては、西クラブ会員みなさまの全員登録をいただき、お礼を申し

上げます。お陰様にて、盛会裏に終了することができました。西クラブ様、はじめ、皆様方のご支援、ご協力の賜物と心より感謝を申し上げます。本日は貴重な時間をご配慮下さいまして、重ねがさねお礼を申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻を賜れば幸いに存じます、最後になりましたが、小泉会長はじめ会員みなさまのご健勝と西クラブ様のますますのご繁栄をご祈念申し上げます、お礼のご挨拶とさせていただきます。

【委員会報告】

◎広報委員会 張江委員長 ～ロータリーの友6月号の紹介～



◎親睦活動委員会 桜田委員長



【ニコニコ献金】

- ・入会記念…三宮会員、桜田会員、張江会員
- ・奥様誕生…加藤会員、小泉会員
- ・その他 …三宮会員、高田会員（欠席お詫び）

【本日のプログラム】 担当：国際奉仕

◎会員卓話

当時と今のロータリー、クラブ活動について 張江会員



この度、那知会員より卓話の要請がありました、テーマにつきましては聞いておりませんので、誠に浅学であります私なりにロータリーに関するお話を致しまして責めを務めさせて頂きたいと思ひます。なお、私、ただ合歯の治療中でありまして聞きにくい点があると思ひますし、また、限られた時間内で終わりたいと思ひますので早口になることもありますのでお許しを頂きたいと思ひます。

アメリカのシカゴで弁護士として働いておりましたポール・ハリスが世界で最初のロータリークラブで

ありますシカゴロータリークラブを設立したのは、ご承知の通り 1905 年（明治 38 年）2 月 23 日
であります。ロータリーの奉仕への取組は 1907 年シカゴに公衆トイレを設置されたのが始まりで、こ
のプロジェクトをもってシカゴクラブは世界初の奉仕クラブ団体となりましたのであります。それから、志
を同じくするクラブが、次々各地に生まれまして、国境を越え、今では 200 以上の国と地域に広がり、
クラブ数は 35,263 クラブ、会員総数は 2016 年 11 現在で 1,227,217 人に達しているのでありま
す。これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称しているのであります。

日本で初めてのロータリークラブは、1920 年（大正 9 年）に創立された東京ロータリークラブであり
まして翌年の 1921 年 4 月に世界で 855 番目のクラブとして国際ロータリーに加盟が承認されたので
あります。東京ロータリークラブの創立当時は出席率が良くなかったり、定款・細則についても関心が薄
く、例会も定期的に行われなかったりしてクラブの存続が危ぶまれる雰囲気は漂っていたと云われており
ました。ところが東京クラブが発足してから 4 年後の 1923 年（大正 12 年）9 月 1 日に起きた関東大
震災を契機としてロータリーが理解される様になったのであります。この震災は昼食時に起きましたので
火災を伴い、死者は 9 万人におよび、負傷者は 10 万人、破壊消失家屋は 68 万軒、損害額は当時のお
金で推定およそ 55 億円にも達したということであります。

この大震災にあたって国際ロータリーの会長より見舞いの電報とともに義援金や救援物資が送られて
きたのであります。シカゴ、ニューヨーク、サンフランシスコのロータリークラブをはじめ 503 のクラ
ブより義援金が寄せられたのであります。今のお金に換算しますと、数億円という多額の義援金であつた
と云われており、当時の日本人に大きな感銘を与えたのであります。東京クラブは、この義援金をもとに、
東京、横浜の小学校の再建や被災者救護を行い、東京孤児院には「ロータリーホーム」と名付けた一棟
を寄贈したのであります。この様な友情と支援はロータリーの大眼目であります「超我の奉仕」という
理想の実現として創立間もない東京クラブの会員に大きな感銘と教訓を与えたのであります。この出来事
を契機としてロータリーとは何か、ロータリークラブとはどういうものなのかということが会員に理解さ
れ、永く、深く銘記されたということであります。東京ロータリークラブは三井銀行の重役でありました
米山梅吉と一緒に創立の準備に奔走した三井物産系列の福島喜三次（ふくしま・きそじ）などの先達の功
により国際ロータリーの加盟が承認されたのであります。

米山梅吉についてお話をさせていただきますと米山梅吉とロータリーの創始者でありますポール・ハリスは
同じ年であります 1868 年、明治元年に出生されております。米山は、明治元年 2 月に東京、芝田村町
で士族であります和田竹造の三男として出生されました。梅吉が幼少の頃、竹造が亡くなり母方の故郷で
あります三島に移っております。梅吉の母は三島神社の娘でありまして教養のある両親の素質を受け継い
で大変成績の良い子供だった様であります。12 歳の時、米山家から養子の話がありました。米山家は農
家でしたが地主だったので家族の者が野良仕事に出る事はありませんでした。明治 14 年に沼津中学校に
入学されました。この中学の校長は江原素六と云いまして明治維新の時活躍され、政治や産業などで故郷
の為に力を尽くした方で米山の文才はこの校長によって磨かれたのであります。梅吉少年は文章には自信
があり、政治に興味を持ち、演説もなかなか上手で新聞記者になることに憧れておりまして東京に行って
勉強したいと思うようになり、明治 16 年に黙って家を出て 3 日ばかりで東京へと旅立つのであります。
東京に着いた米山は漢学者であります土居光華（どい・こうか）の書生になりました。土居光華は江戸時
代に日本史の知識を広め尊王思想を育てた頼山陽（らい・さんよう）の弟子で沼津中学の時に梅吉が政治
の演説を聞いた先生であります。この土居先生の塾でお世話になった時に藤田四郎と親しくなり 20 年後

に三井銀行に入るきっかけとなったのであります。この藤田四郎という方は後に国際社交場として今の東京千代田区に鹿鳴館を建てた井上馨外務大臣の娘婿になった方です。米山は更に新しい学問を求めて明治21年20歳の時にアメリカに渡るのであります。アメリカでは法学を勉強したのであります。が学資を稼ぎながらの苦しい生活であったため卒業まで8年という普通の倍もかかり明治28年に帰国しております。帰国後明治29年に米山家の娘、春子と結婚しております。結婚してから英語を話せる人を求めておりました日本鉄道会社に入社したのですが安月給で、その上子供ができて生活が火の車となり、日本鉄道会社をやめまして土居光華の塾に通っていた時、親しくなった藤田四郎を訪ねて相談しました。藤田四郎は先ほど述べました通り井上馨の娘婿であり、幸運にも井上馨の推薦を受けて三井銀行に入荷することになったのであります。明治30年、数え年で30歳のことであります。

米山は銀行の実務について教育は受けておりませんでした。金融に関する書物を読み懸命に勉強したことが上役に認められ、2年間かけて欧米の銀行を見て学んで来る役目を命じられたのであります。欧米視察から帰国して、三井銀行の大阪支店、大津支店、深川支店、横浜支店と移り、1905年、明治38年に三井銀行横浜支店長となっております。この年こそ米山梅吉と同じ明治元年生まれのポール・ハリスがシカゴでロータリークラブを創った年です。明治41年、再び大阪支店へ転任し、明治42年三井銀行は株式会社組織になりました。米山は常務取締役大阪支店長となり、他の仕事も増えまして大変忙しくなりました。いつの間にか米山の働きは三井銀行の米山だけではなく、日本の経済界の代表者の一人とみなされる様になったのであります。大正6年10月から4ヶ月、日本帝国政府特派財政経済委員としてアメリカへ行き、戻ってきて大正天皇から金杯を頂いております。この年にロータリーの大会が英国のエジンバラで開かれ、それに参加する米国の会員のために大きな汽船2隻が傭船されたと聞いて、ロータリークラブに大変注目し、三井物産系列の東洋綿花株式会社、代表の福島喜三次（ふくしま・きそじ）氏に調査を依頼して帰朝されました。東洋綿花の福島は日本人最初のロータリアンとして、1914年、大正8年に米国テキサス州ダラス・クラブに入会しており、この福島から詳しく話を聞きました。ロータリークラブは色々な職業から選ばれた人が奉仕の機会として知り合いを広め、奉仕の理想を持って自分の職業や生活を高め、国際的な理解と親善と平和を推し進めることを心掛けていたとの説明を受け、大正9年、米山は53歳の時、日本にロータリークラブを創ったのであります。アメリカ、カナダ、イギリス、フィリピン、インド、アルゼンチンに次いで1920年、大正9年、米山梅吉が会長、福島喜三次が幹事となり創立しました。世界では855番目のクラブで、24人の会員をもって、ここに東京ロータリークラブが創立されたのであります。その後、1922年、大正11年、関東大震災の前の年に大阪クラブが創立、初代幹事は大阪に転勤された福島喜三次が務めております。大正13年には神戸クラブ、名古屋クラブが創立されたのであります。

北海道に最初のクラブが誕生したのは1930年、昭和7年で札幌クラブが最初であります。この当時のRI第70地区は1地区で、所謂日本、台湾、韓国、満州ですが、この70地区のガバナーでありました村田省蔵は人口5万人以上の都市すべてにロータリークラブを設けたいと発表され、米山梅吉もこれを強く支持されたのであります。これにより1934年昭和9年に小樽ロータリークラブが、翌年1935年昭和10年には旭川ロータリークラブと函館ロータリークラブ、帯広ロータリークラブが、更に1936年昭和11年には室蘭ロータリークラブが創立されております。室蘭クラブと同じ年に釧路ロータリークラブが誕生しました。東京ロータリークラブが創立されてから、ほぼ15年が過ぎた昭和11年11月23日、日本で26番目、北海道で7番目のクラブであります。そして、更に1937年昭和12年には野付牛、現在の北見ロータリークラブと続々誕生したのであります。

釧路クラブが誕生した 1936 ~37 年度の第 70 地区のガバナーは札幌クラブの会員であります北海道大学総長の佐藤昌介であります。佐藤昌介は男爵であり、北海道大学総長、第 7 師団の団長、北海道庁の上位長官でもありまして釧路クラブの創立を強く要請されたのであります。この年は陸軍の特別大演習が北海道で行われた年でもあり、また釧路では天皇陛下の行幸があった年でもあります。創立会員は 30 名、平均年齢は 41 歳でした。会長には飯田要次郎 62 歳、職業分類は信用組合、現在の釧路信金でありまして信用組合時代の初代組合長であります。副会長には森島靖雄 42 歳、職業分類は船舶運輸、幹事は両角克治 31 歳、職業分類は百貨店、当時の丸三鶴屋、SAA は遠洋漁業の嵯峨旻、嵯峨旻につきましては、昭和 37 年に財団法人嵯峨青少年育英会を創立された方でありまして昭和 50 年に釧路クラブは、これを引き継ぎまして名称を釧路ロータリー嵯峨記念育英会に変更しまして釧路クラブの青少年奉仕活動の柱として取組み、現在も継続発展しているのであります。

1940 年昭和 15 年、日支事変がこじれ日本の軍国主義は力を強め、ロータリーはアメリカで発祥したものであることを理由として、軍部の圧迫を受けたのであります。その年の 8 月、静岡ロータリークラブが解散したのをはじめとして、全国各地のロータリークラブが次々と解散して行ったのであります。9 月 11 日、東京ロータリークラブの解散に際し、米山梅吉は「こんなにづらい気持ちで語らなければならないのは、ロータリークラブが日本にできて 20 年経つが初めてである。」と述べられ、更に「今後の道は二つ、一つは現在のまま続けて玉砕することであり、もう一つの道はクラブの名前を変えてロータリーの精神を守っていくことである。」と述べられ、選択の結果、第二の道をとることにして、東京ロータリークラブは翌週から、その名前を「水曜会」と改めて存続したのであります。そして、戦後の昭和 24 年、元通りの東京ロータリークラブに戻りましたが、米山梅吉は昭和 21 年故郷の静岡県長泉(ながいずみ)の別荘で 78 歳の人生を終えたのであります。米山梅吉が日頃語りかけていた言葉は「自分にしてほしいと思う事は、人々にも、その様にしなさい。」という言葉であります。

昭和 44 年 3 月梅吉の遺徳を偲び偉業を顕彰する事を目的に全国及び地区のロータリアンの努力で梅吉が幼児期から青年期まで住んでいた長泉町に「米山梅吉会館」が設置され梅吉に関するロータリーの資料や愛用品、遺品等が展示されておりまして、地元のロータリークラブによって管理されているのであります。その翌年 1947 年昭和 22 年 1 月 17 日、今度はロータリーの創始者でありますポールハリスが 79 歳で逝去されたのであります。ポールハリスは亡くなる時に、次のような言葉を残しております、「ロータリーが全てうまくいっているとするならばロータリーは終焉に近づいている。しかし、大変有難いことにロータリーは、まだこれから発展せねばならぬとともに、改善を必要としない部分は一つもありません、私達は未来永劫にロータリーの進歩のため努力していかなければなりません」と述べております。

釧路でも釧路クラブは昭和 15 年 6 月をもって国際ロータリーを離脱しまして木曜クラブ、その後「釧路職域懇談会」と名を改めるに至ったのであります。再び元の名前に戻ったのは 1950 年、昭和 25 年のことであります。1958 年昭和 33 年には釧路クラブがスポンサーとなって釧路北ロータリークラブが設立しました。チャーターメンバーは 23 名、平均年齢は 39 歳で日本一若いクラブであったようです。特別代表には釧路クラブの嵯峨旻氏で初代会長には米内印刷の社長、米内富久司氏で日本で 266 番目のクラブとして誕生しました。なお、1961 年昭和 36 年に白糠ロータリークラブが創立されております。

そして、1970 年昭和 45 年 6 月 8 日、釧路北クラブがスポンサーとなって釧路西クラブが誕生した

のであります。当時、北海道は1地区でありまして、第350地区と呼ばれていた最後の年であります。その時のガバナーは医薬品製造及び卸し小売業、秋山愛生館の社長、秋山康之進であります。秋山ガバナーが昭和44年に釧路クラブ、釧路北クラブを公式訪問された時、釧路市内に3つ目のロータリークラブを創るよう強かに要請されたのであります。そこで釧路で3番目のクラブをつくるべく、両角パストガバナーを中心に話が進められたのであります。当時クラブの結成にはテリトリーと云いまして所謂区域限界の規定がありましたので新釧路川より西の地域に事業所または住居があることを会員の条件としておりまして、釧路で3番目のクラブを創るため釧路北クラブの釧根食糧の社長であります曾宇昇進氏と当時釧路北クラブの会長でありました丹薬泰三氏と二人で十條製紙釧路工場長の石上実さんと本州製紙釧路工場長の岩沢慶二さんに会って、設立の要請をされ両氏から快諾を得たのであります。それは1970年昭和45年4月頃でありまして、それから1ヶ月余りで釧路西クラブの創立総会が開催されたのであります。チャーターメンバーは22名、平均年齢54歳、全国で1,012番目、北海道では82番目、現在の第2500地区で数えますと40番目のクラブであります。チャーターメンバーの中には今も健在で当クラブの為に指導を頂いております重鎮の三宮会員も創立に当たって活躍された一人でもあります。

丁度、この年は国際ロータリーの65周年であり、また日本にロータリーが誕生して50周年でもありました。そして大阪で万国博が開催された年でもありました。

設立準備のメンバーは

十條製紙釧路工場長 初代会長 石上 実さん

本州製紙釧路工場長 第2代会長 岩沢慶二さん

丸彦渡辺建設釧路支店長 田中義文さん

富士興業専務 初代幹事 第9代会長 中谷定男さん

十條サービスセンター社長 第5代会長 大谷 渡さん

設立委員長は大谷 渡さんであります。

創立総会は1970年6月8日、月曜日、十條サービス会館で曾宇昇進特別代表の点鐘で始まり石上会長の挨拶、祝辞は両角パストガバナー、嵯峨パストガバナー、北村藤兵衛（丸ト北村社長）第9分区代理、丹薬泰三釧路北クラブ会長、道下俊一浜中初代会長の順で頂いております。続いて国際ロータリー加盟認証状の伝達式は1970年8月24日に釧路オリエンタルホテルで第350地区直前ガバナーの秋山康之進から認証状が伝達されたのであります。

最後に当西クラブが創立30周年の記念誌に寄稿して頂きました、今は亡き道下俊一パストガバナーの祝辞を紹介致しまして、私のお話を終わらせて頂きます。

～釧路西クラブ30周年をお祝い申し上げますと共に、地域への更に世界に向けての奉仕の軌跡に心より敬意を表します。貴クラブは私達の浜中クラブのチャーターに遅れること5年、スポンサーを同じ釧路北クラブとして創立されました。指導者は同じく曾宇昇進さんでした。徹底してロータリーを教えられました。その後の両クラブの活動を振り返りますと、貴クラブは献血運動、青少年奉仕活動に見るべきものがあり、地区大会のホスト、また、コ・ホストとして存分の活躍をされ、愚兄賢弟のそしりを免れません。私にとって特に嬉しい事は、貴クラブにメーキャップしてみると、例会の持ち方や随所に曾手ロータリーの名残のいくつかを発見することです。釧路ベイクラブの創立には、釧路北クラブと相俟って核となる会員を送り出すなど地区への奉仕にも目を見張るものがありました。30年の歴史を持つベテランクラブの

品位を保ちながら、今なお初心を忘れないでいることに感動しております。釧路西クラブの益々のご発展、会員皆様のご繁栄を祈念し、クラブの輝かしい歴史を、これからも一頁一頁書き続けていくことを願ってお祝いの言葉と致します～

以上、大変拙い卓話になりましたが、当クラブの創立50周年も近づいて参りました。当クラブの皆さんには更にロータリーに理解を深めて頂きますようお願い致しまして私の責めを終わらせて頂きます。ご静聴有難うございました。

【次回例会のご案内】

6月12日(月) 12:30～ 担当:クラブ奉仕

◎会員卓話 当時と今のロータリー、クラブ活動について ～石川会員～

《例会運営委員会》

6月5日	在籍数	28名						「編集:三木委員」
	出席者	16名		欠席者	12名			修正出席率 60.71%
	会報委員長:	三木 克敏		副委員長:	杉野 史和			
	委員:	大場 恵治	那知 哲	坂口 裕二	菊地 康平	高田 智弘	小栗 直也	